

V. その他報告(代表理事 杉尾 哲)

1. 宮崎市政 100 周年記念式典において功労者表彰を受賞

宮崎市は、令和 6 年 4 月 1 日に市制施行 100 周年を迎えたことに伴い、宮崎市制施行 100 周年記念式典を 2024 年 10 月 26 日に宮崎観光ホテルにおいて開催し、宮崎市名誉市民、栄誉賞および功労者の表彰を行った。当団体は、環境功労活動の受賞者代表として式典に出席し、宮崎市長より表彰された。



2. 第 8 回美しい宮崎づくり知事表彰の受賞

宮崎県は、県民や事業者による「美しい宮崎づくり」をより一層促進するために、県内で美しい宮崎づくりに貢献した個人や団体を表彰している。当団体は、第 8 回美しい宮崎づくり知事表彰の部門賞の水と緑の景観賞を受賞し、令和 6 年 11 月 7 日に県庁防災庁舎において宮崎県知事より表彰された。



考察

上記は、大淀川天満橋下におけるタコノアシの保全活動と子ども達に河川環境を理解させる大淀川環境保全クラブの活動が表彰された。両方とも、皆様のご協力とご支援のお陰と評価しています。今後とも、大淀川の環境保全活動に、邁進して参ります。

3. 理事会の開催

令和 6 年度の理事会は、計 6 回開催して活動を協議した。

第 1 回 令和 6 年 4 月 17 日 (木) 宮崎市民活動センター 6 名出席

通常総会の準備、令和 6 年度の活動予定、子どもを対象とした水辺のイベントなどについて協議

第 2 回 令和 6 年 6 月 19 日 (水) 宮崎市民活動センター 5 名出席

水辺安全講習会、大淀川環境クラブ、川の通信簿などについて協議

第 3 回 令和 6 年 8 月 21 日 (水) 宮崎市民活動センター 5 名出席

宮崎県流域治水研究課題、地震・津波警報発生時の避難経路、大淀川フェスなどについて協議

第 4 回 令和 6 年 10 月 16 日 (水) 宮崎市民活動センター 5 名出席

宮崎県・熊本県におけるセブンの森活動団体募集、九州「川」のワークショップの発表課題、カレンダーの絵と写真の受賞作品の選定などについて協議

第 5 回 令和 6 年 12 月 18 日 (水) 宮崎市民活動センター 5 名出席

セブンの森活動団体申請内容、九州「川」のワークショップなどについて協議

第 6 回 令和 7 年 2 月 19 日 (水) 宮崎市民活動センター 5 名出席

全国一斉水質調査の申請、九州河川協力団体連絡会議、役員改選、広報誌、通常総会の資料作成などについて協議

考察

理事会は、偶数月の中旬に年 6 回 2 時間ほど開催していて、毎回、事務局が準備した資料を基に前回以降の活動状況の報告と開催日以降の活動予定を報告した後、協議事項の数件について協議し

ている。理事全員が勤めを持っていることもあって全員が揃うことは困難な状況ではあるが、今後
もできるだけ全員で開催できるように努めるべきであると評価します。

4. 「宮崎県自然豊かな水辺の工法研究会」の運営

本研究会は、宮崎県との協働事業として平成 19 年度から実施していて、本団体が事務局を務めて
いる。河川に携わる行政や企業の技術者に対する多自然川づくりの人材育成として、水辺の工法研
修会、身近な水辺のモニター報告会、現地研修会、川づくりコンペなどを開催した。

●水辺の工法研修会の開催

本年度は、3 回ともコロナ禍の前と同様に県北会場と県南会場において対面方式で開催した。

1) 令和 6 年度 第 1 回研修会

実施日：令和 6 年 5 月 22 日（水）会場：日向市中央公民館
令和 6 年 5 月 23 日（木）会場：宮崎市民文化ホール
講師 1：前年度川づくりコンペの受賞課題
(1)：宮崎河川国道事務所 黒木 隆 氏
題名：八重川津屋原沼周辺の堤防整備と環境保全について
(2)：宮崎県西臼杵支庁 松元暖希 氏
題名：神代川かわまちづくり～10 年の時を経て～
(3)：宮崎県延岡土木事務所 金政 龍之介 氏
題名：iRIC を活用したゴソ対策検討
講師 2：（公財）リバーフロント研究所 都築 隆禎 氏
題名：兵庫県の円山川水系で実施している多自然川づくり
受講者数：行政 32 名、民間 725 名



2) 令和 6 年度 第 2 回研修会（台風により延期して開催）

実施日：令和 7 年 1 月 21 日（火）会場：日向市中央公民館
令和 7 年 1 月 22 日（水）会場：J A アズムホール
講師 1：熊本県立大学 学術研究員 一柳英隆 氏
題名：気候変動に伴う河川水温の変化と流域生態系の保全
講師 2：九州大学大学院 准教授 林 博徳 氏
題名：伝統的な河川工法の有する治水・環境機能
受講者数：行政 21 名、民間 675 名



3) 令和 6 年度 第 3 回研修会

実施日：令和 6 年 11 月 11 日（月）会場：宮崎市民文化ホール
令和 6 年 11 月 12 日（火）会場：日向市中央公民館
講師 1：NPO 法人 みやざき技術士会 神田稔弘 氏
題名：宮崎の河川景観を考える
講師 2：国立研究開発法人土木研究所 主任研究員 房前和朋 氏
題名：デジタルを用いた働き方の改革
受講者数：行政 22 名、民間 497 名



●身近な水辺のモニター担当者への説明会の開催

各土木事務所で河川モニターと実施する川の生き物のすみかの環境調査シートによる河川特性調
査について、実施方法を解説して、河川での実習を行った。

実施日：令和6年5月8日（水）

会場：綾町役場 第二会議室・本庄川 松原公園

講師：九州河川研究所 代表 杉尾 哲 氏

参加者数：県河川課と土木事務所 17名

●水辺の工法 職員を対象とした現場研修会の開催

令和4年度に完成した「河川環境評価プログラム」の使用方法について説明し、加江田川を題材としてプログラムを使って改善点について班で討議して、検討内容を発表した。

実施日：令和6年6月20日（木）

会場：宮崎県建設技術センター 大会議室

講師：九州河川研究所 代表 杉尾 哲 氏

講義名 「河川環境評価プログラム」について

参加者数：県河川課と土木事務所、宮崎河川国道事務所、延岡河川国道事務所 15名



●第17回うるおいのある川づくりコンペの開催

「私たちがめざすうるおいのある川や水辺はどんな姿なのか」について、河川で活動する企業・行政に広く呼びかけて開催した。

実施日：令和6年7月31日（木）

会場：県電ホール

発表団体数：14団体、参加者数：69名

発表審査の結果を以下に示す。

【金賞】団体名：国交省宮崎河川国道事務所

テーマ：大淀川下流河道掘削での環境の保全・創出について

【銀賞】団体名：国交省延岡河川国道事務所

テーマ：五ヶ瀬川方財地区における河川環境に配慮した河道掘削について

【銀賞】団体名：宮崎県西都土木事務所

テーマ：急流河川「銀鏡川」の河道掘削と巨石の活用

【銀賞】団体名：宮崎県都城土木事務所

テーマ：丸谷川河岸修繕工事における多自然川づくりの取組事例

【銅賞】団体名：宮崎県西臼杵支庁

テーマ：神代川かわまちづくりにおける取組について

【銅賞】団体名：宮崎県日向土木事務所

テーマ：多自然川づくり実施箇所の実地観察について

審査員：宮崎河川国道事務所 副所長 西野 公雄 氏

延岡河川国道事務所 副所長 下村 慎一郎 氏

宮崎県県土整備部 河川課長 和田 安生 氏

宮崎大学工学教育研究部 教授 入江 光輝 氏

NPO 法人手仕事舎そうあい 理事長 蒲生 芳子 氏

環境省環境カウンセラー 詠田 トキ子 氏



九州河川研究所 代表 杉尾 哲 氏

審査の結果、九州ブロック川づくりコンペの宮崎県代表の発表課題には都城土木事務所と西都土木事務所の2件が選出された。鹿児島市で10月30-31日に開催された九州川づくりコンペにおいては都城土木事務所の課題が第4部門の部門賞を受賞して九州代表に選出され、さいたま市で12月9-10日に開催された全国多自然川づくり会議において、1日目に第4分科会の代表事例に選出され、2日目に全体発表で発表して優秀賞を受賞して表彰された。

●身近な水辺のモニター報告会の開催

県内12か所の土木事務所等で地域住民の方々に委嘱している水辺のモニターの報告会を開催し、モニターと担当の土木事務所で発表して、意見交換した。

実施日：令和7年2月7日（金）

会場：県電ホール

コメンテーター：共同技術コンサルタント 大迫 忠敏 氏

発表団体数：12団体、参加者数：44名



考察

以上の宮崎県との協働事業は、多自然川づくりのための人材育成として機能している。水辺工法の研修会は、本県の多自然川づくり推進の原点であり、その成果として九州大会や全国多自然川づくり会議において本県の川づくりが高く評価されていて、他県関係者からの視察依頼が来ている。次世代にうるおいのある良い川を受け渡すために、今後も引き続き開催できることを期待しています。

3. 河川協力団体としての活動

本団体は、大淀川下流域の河川協力団体として活動している。その活動として、宮崎河川国道事務所と住民団体との連携・協働、防災や環境情報の収集、河川に対する住民の理解の促進を図るために、みやざき川づくり交流会の運営補佐と簡易水質調査の実施補助活動を行った。

●みやざき川づくり交流会の運営補佐

宮崎河川国道事務所が平成25年度に立ち上げた「みやざき川づくり交流会」の運営を補佐している。今年度は、宮崎県中央部で活動する河川住民団体から、河川空間などでの活動などについて報告があり、宮崎河川国道事務所、宮崎県、宮崎市から、活動支援などについてお知らせがあった。

実施日：令和6年11月20日（水）

会場：宮崎河川国道事務所

参加団体：8団体

●簡易水質調査の実施補助

宮崎河川国道事務所が地元の小学校等と共に実施する簡易水質調査において、調査前の安全確認、ゴミ清掃活動及び調査時における子供達の安全確保、調査後の後片づけを実施した。



実施日：令和6年9月6日（金）

実施場所：本庄川 柳瀬橋上流左岸

対象：宮崎市立小戸小学校 4年生 52名

考察

河川協力団体としての活動は、宮崎県内の環境団体との連携を深めるとともに、宮崎河川国道事務所との相互理解を深め、本団体の活動を連携して推進するのに極めて重要である。今後も積極的に継続すべき取り組みであると評価します。



4. 色々な活動

自然が豊かで生物多様性に富み潤いをもたらす良い川を次世代に引継ぐことを目指して、自然共生社会の構築に貢献する活動を行った。

●宮崎県流域治水プロジェクト

宮崎県が取り組む流域治水の子ども達への普及のために実施するプロジェクトにおいて、グループワークなどの実施、模型製作およびPR動画の制作などについて協力の依頼があり、受託して担当職員と打ち合わせを行って実施した。

(1) グループワーク 令和6年10月14日（祝）に実施した大淀川フェスに河川課が参加して実施

(2) 模型製作 代表理事の杉尾哲氏が設計し、事務局長の松本浩二氏が模型製作

(3) 動画の制作 模型の使用方法を説明する動画を事務局長の松本浩二氏が制作

製作した模型については、令和7年1月29日（水）に完成報告会が県土整備部長室で開催され、参加した関係者に模型を紹介し、活用方法を説明した。



●大淀川親水公園せせらぎ水路の冬期通水

宮崎市政100周年記念式典に出席した際に、宮崎市の永山英也副市長と懇談する機会があり、日程を調整して令和6年11月15日（金）に大淀川天満橋下の小川を案内して絶滅危惧種の生息を説明し、冬期に止まっているせせらぎ水路の通水をお願いした。その結果、絶滅危惧種の保全を目的に11月から3月までの期間において昼間に通水され、小川の生息環境が維持されることが実現した。



●生物多様性保全のセブンの森活動に内定

現在、生物多様性の保全活動を支援している企業が急激に増加している。その1つが、セブン-イレブンの貴重な生態系を次世代に引き継ぐためのセブンの森活動である。国交省九州地方整備局河川部の仲介で、令和6年10月2日(水)に熊本県と宮崎県の団体を対象として河川でのセブンの森活動の募集説明会がオンラインで開催され、当団体は12月23日(月)にオンラインで内容を説明して申請した。令和7年2月17日(月)に活動予定の現地を役員3名が視察して選考され、3月7日(金)に採択が内定した。申請内容は、大淀川天満橋下左岸に広がる砂州の湿地において、生物多様性の保全活動を産官学民で協働して10年間に亘って実施する計画としている。



考察

これらの3件は、自然が豊かで生物多様性に富み潤いをもたらす良い川を次世代に受け渡すために重要な活動である。特に、採択が内定した自然環境保全のセブンの森活動については、今後の10年間に亘る生物多様性の保全活動が支援されることに満足せず、自然共生社会の構築を目指して、地域住民と一緒に、今後もさらに改善や変革を図りながら鋭意努力を重ねて取り組むべきであると評価します。